

令和 6 年度 第 1 回 沖縄県がん診療連携協議会 小児・AYA 部会 議事要旨

日 時：令和 6 年 6 月 5 日（水） 14：30～16：10

場 所：WEB 会議

構 成 員：18 名

出 席 者：12 名

大畑尚子(中部病院産科)、林絹子(中部病院腫瘍・血液内科)、比嘉猛(南部医療センター・こども医療センター小児科)、屋宜孟(南部医療センター・こども医療センター小児血液・腫瘍内科)、岩崎政志(森川特別支援学校)、徳元亮太(沖縄がん教育サポートセンター)、外間早紀子(沖縄県保健医療部健康長寿課)、金城正樹(沖縄県教育庁保健体育課 代理参加：岸本こずえ)、金城敦子(がんの子どもを守る会 沖縄支部)、銘苺桂子(琉大病院産婦人科)、當銘保則(琉大病院整形外科) 増田昌人(琉大病院がんセンター)

欠 席：6 名

伊良波史朗(南部医療センター・こども医療センター放射線科)、親富祖しのぶ(南部医療センター・こども医療センター看護部)、宮平有希子(がんの子どもを守る会 沖縄支部)、浜田聡(琉大病院小児科)、喜納綾乃(琉大病院看護部)、森島聡子(琉大病院第二内科)、

陪 席 者：1 名

石川 千穂(琉大病院 がんセンター)

【報告事項】**1. 令和 5 年度 第 4 回 小児・AYA 部会 議事要旨(3 月 4 日)**

資料 1 の通り確認された。

2. 小児・AYA 部会 委員一覧

資料 2 の通り確認された。新委員 3 名の内、出席の林委員より自己紹介があった。

3. 「妊孕性温存療法」と「がん治療後の生殖医療」WG 委員一覧

資料 3 の通り確認された。薬剤部より新たに 2 名の加入があった。

4. がん教育について**(1) 沖縄県教育庁保健体育課からの報告**

金城委員の代理で、沖縄県教育庁保健体育課の岸本こずえ先生より、当日資料に基づき、学校におけるがん教育について報告された。学習指導要領に基づき、着実に実施されている状況であるが、今後も各学校におけるがん教育の充実に努める、との報告だった。

(2) 沖縄がん教育サポートセンターからの報告

徳元委員より、資料 5 に基づき沖縄がん教育サポートセンターでの活動や役割、課題等に

について報告された。現在、学習指導要領において、小学校では「がん」について触れること、中、高では「がん」について取り扱うこととされている。がん教育においては、学校教諭、医療者、がん経験者が連携して行っていくことが大切であるが、沖縄県内ではがん教育の外部講師活用率がまだ低い状況にあることが報告された。また、外部講師は仕事を休んで授業を行っているが、交通費や謝金等が無いいため負担が大きく財源確保も課題であるとのことだった。

【協議事項】

1. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会版)における所掌分野の進捗について

2. 上記の進捗状況の結果を踏まえた今期の部会活動について

増田委員より、資料6に基づき説明があった。現在、指標の数値が埋まっていない所が多いので、部会としてどのような活動を行うかは、指標数値を埋めてみて、次回以降に改めて協議することとなった。岩崎委員より生徒の学習環境の整備や支援等に関して、この部会から要望を出せないかという提案があったので、次回部会では、提案を具体的にあげて頂き協議する予定。

3. AYA サポートチームの構築について

増田委員より、資料7に基づいた説明があり、今年度中の AYA サポートチーム構築について言及した。

4. 助成金申請時のアプリ登録100%に向けた対応について

銘苅委員より、妊孕性温存療法の助成を受けるときの条件として、JOFR に登録する事になっているが、研究協力の同意がないまま助成を受けている方がいる状況にあるので、資料8のような、登録が完了しているかを確認するための資料を用いて、これらすべての項目にチェックやサインが入った方に助成を行うようにできないかと提案があった。県の申請様式に記載欄がある、アプリ番号(*1)が記載されているだけでは、登録完了したことにはなっておらず、FS リンク登録後届くメールに回答して初めて登録完了(*2)となるようだった。外間委員より、(資料8を申請書類の一部として)取り入れると、この場で答えることはできないのだが、病院から出して頂く申請書類を提出する際に、登録状況を確認することは可能かと質問があり、銘苅委員より、(100%登録にするために)病院だけで抜けが無いようにチェックすることができるか再度シュミレーションし、改めて相談したいとの回答があった。

【参照：資料8抜粋】

(*1) ▶ 2-(5) 12桁の会員番号を産婦人科主治医または外来へ伝えましたか。

(*2) ▶ 2-(7) FS リンク登録、施設登録完了後の質問表票を回答しましたか。

5. 市民公開講座の開催について

銘苅委員より、来る8月3日に、がん生殖医療に関する市民公開講座を企画しており、がんセンターと小児・AYA 部会で共催という形で開催して良いか提案があった。増田委員より、資

料9に記載されているプログラムであれば、民間企業や任意団体が宣伝をしない条件をクリアするならば、可能だと思われるという説明があった。共催に名前を載せることに関しては、事務局で調整した後に最終決定出来ればということとなった。

6. その他

次回は9月開催予定。

【報告事項】

5. 妊孕性温存療法について

(1)妊孕性温存療法研修会について

資料10-(1)の通り確認された。

(2)県の助成について

外間委員より、資料10-(2)の通り報告された。

(3)琉大の実績について

銘苺委員より、当日資料に基づき報告された。

(4)友愛医療センターの実績について

銘苺委員より、当日資料に基づき報告された。

(5)がん治療施設について

銘苺委員より、資料10-(4)の通り報告があった。

6. 妊孕性温存療法WGのメーリングリスト立ち上げについて

銘苺委員より、妊孕性温存療法WGのメーリングリストが作成された旨報告があった。

7. 第20回 小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会(5月31日)

資料11について、増田委員より報告があった。

8. その他

増田委員より、以下2点依頼があった。

①7月の末頃までに、小児がん、AYA世代のがん、がん教育の指標を埋めたロジックモデルを委員の皆様宛に送るので、ご確認をお願いしたい。

②今後、部会開催までに親協議会の方に提案事項があれば、事前にメール審議も行いたいのので、思いついた時点で事務局にご連絡頂きたい。(部会開催は、6月、9月、12月、3月)

以上